

桜花台通信

大石田中だより No. 189 令和7年12月25日(木)

2025年をふりかえって

校長 安達卓子

年末の恒例行事となっている「今年の漢字」は“熊”でした。歴代の漢字を振り返ると、金・税・戦・密・令・災・北・安…と、その漢字から世相や出来事を連想させるような、やや抽象的なものが選ばれているイメージがあったのですが、今年はズバリ“熊”。これまでにないくらい熊の出没や被害のニュースが連日のように報道されていることを考えると、確かに“熊”はこの一年を最も象徴している漢字といえます。ここ大石田町でも熊の出没情報が幾度となくあり、自分事として恐怖と緊張を覚えることもありました。生徒の安全を確保し安心して教育活動を継続するために、学校の危機管理マニュアルにこれまでなかった「熊出没時の対応」について早急に対応策をまとめ、お家の方々・地域・スクールバス運行会社等の皆さんのご理解ご協力をいただきながら、無事に2学期を終えられたことに安堵しております。本当にありがとうございました。

今年の西暦は2025年、気づけば21世紀の四半世紀が過ぎたことになります。以前、21世紀は夢と希望に満ちた憧れの未来でした。しかし、その21世紀真っただ中の現代は「将来の変化を予測することが困難な時代」と言われ、「変化に柔軟に対応し未来を切り拓く力」を育むことが学校の使命とされています。大震災や自然災害、コロナ禍、そして熊被害といったものも、予測できない変化のひとつかもしれませんが、これらの経験を通して、子どもたちだけでなく大人も同様の力をしっかりとつけていかなければならぬ、生徒たちの手本となるような教師集団でありたいと思いをあらたにした1年でした。

本校では、3年間にわたり「合意形成を通して、学びの質を高める生徒の育成」というテーマで校内研究を行ってきました。自分の考えを表現する力、相手の意見を聞く力、よりよい考えに変えていく力が合意形成に必要な力ととらえ、授業や特別活動の中でこれらの力を伸ばしていくための実践を積み重ねてきました。運動会や校内駅伝大会、文化祭などの行事を通して、考えを出し合い、合意形成を図り、実行していく中に、『笑顔・活力・信頼』あふれる生徒の姿がたくさん見られたと感じる一方、その力を学習面に見える姿として反映させていくことが現在の課題と感じています。3学期はそれぞれの学年のまとめとなる大事な3ヶ月間となります。この冬休み中はメリハリある生活を送り、これまでの学校生活で身につけた力をあらゆる面で発揮できる2026年を創っていくことを願っています。

～皆様どうぞ良いお年をお迎えください。～



入試シーズン到来です！

■今年、公立高校の入試が大きく変わります！ [12/19入試激励会で手作りお守りをプレゼント](#)▶

- ・前期（特色）選抜と後期（一般）選抜の2回の選抜試験があります。

前期特色は日程が2つあり、A日程は1月20日（火）、B日程は2月3日（火）

です。高等学校ごとに面接や作文などの試験があります。後期一般は3月7日

（土）に学力検査が行われます。

- ・Web出願となり、合格発表まですべてがWeb上で行われます。

※入試の情報は山形県HPに、公立高校の情報は各校HPならびに「山形県立高等学校ポータルサイト」でご覧いただけます。



認知症サポーター講座



1年 斎藤 実蘭さん

認知症の方に限らず人と接する時は、優しく声をかけたり相手が何か困っていないか考えたりしながら接していくたいと思いました。

11月21日(金)に「認知症サポーター養成講座」を1年生が受講しました。大石田町保健福祉課の柴田さんから“認知症に関する知識”や“認知症高齢者の方への接し方”を教えていただきました。実際に、おじいちゃん役と孫役に分かれてロールプレイをする場面では、それぞれの立場になって話す人が多くいました。自分軸で話すのではなく、相手の困り感や悩みに寄り添い、せかさず優しく関わることが大切だという気付きを得られた貴重な時間になりました。説明を真剣に聞く眼差しや積極的に反応する姿から、今後の大石田町を支えていきたいという強い意志を感じられ、頼もしくなった1日でした。思いやりあふれるその心を大事にして、これから多くの人と関わってほしいです。

3学年は10月から福祉体験学習に取り組んできました。

仁風荘さんの交流、いきいき百歳体操、保育園実習、

花笠ほーぶ隊さんのご講演などを通して、幼児から高齢者の方まで、全ての人が幸せに暮らせる大石田町にしていきたいという思いを強くしました。これからも、地域を愛し、様々な場面で、人々に寄り添い、貢献していってほしいです。

仁風荘での交流



保育園実習



いきいき百歳体操



花笠ほーぶ隊の講演

後期生徒会発足 ～生徒会選挙・任命式～

11月14日(金)に生徒会役員選挙が行われました。

27日(木)には、新しい役員の皆さんに任命証が授与され、受け取る際の大きな返事と、その後の引き継ぎ式でのやる気に満ちた姿から、今後の生徒会活動が楽しみになりました。楽しい学校を目指し頑張ってください。



<生徒会スローガン>

Only One

～世界に一つだけの一等星～

先輩から生徒会スローガンを引き継ぎ、1人
1人が輝く学校を創っていきます！

令和7年度後期生徒会役員

生徒会長	今田陽翔さん
生徒会副会長	奥山凜耶さん、安達聰子さん
生徒会議長	菅野真南斗さん、寺寄結恵さん
学習委員長	海藤都紀さん
図書委員長	芳賀愛来さん
風紀委員長	今野愛麗さん
情報委員長	石川心羽さん
生徒会書記	村岡一さん、織江陽向子さん 青柳実子さん、鈴木睦海さん
学級委員長	佐竹海例さん
応援団長	庄司倖さん

赤い羽根共同募金 富樫孝さん図書寄贈

生徒会執行部が中心となって募金活動を行いました。総額 10,943 円の募金を副町長さんにお渡しました。



今回皆さんのが募金したお金は、町の様々な福祉の活動に活用されます。地域のためにできることを率先してやろうとする心、素晴らしいですね！

富樫孝さんは、大石田町出身のお医者さんです。現在、宮城県で病院の院長をされています。

「中学生の皆さんにたくさんの本にふれてほしい」という思いから、本を寄贈してくださいました。大中生みんなの手に届くように図書委員を中心にPRして貸し出していきますので是非読んで下さい。



郷土料理調理実習

改善推進委員の方々を講師に招いて、地域の食文化を学ぶ郷土料理の調理実習を行いました。メニューは、けんちん汁、そばがき、次年子かぼちゃの煮物です。



1月2日(火)に町栄養士の須藤莉奈さん、食生活



生徒からは、「大石田料理といえば、べそら漬けやかいもちかなと思っていたが、他にもたくさんあることを知った」「次年子かぼちゃがあることを初めて知った」「栄養士の先生や食生活改善推進委員の方にアドバイスをいただきながら楽しく調理できた」「郷土料理には思っていたよりも長い歴史がある」などの感想があげられました。短い時間でしたが、地域の食文化に触れる貴重な体験をすることができました。

数学・理科クラスマッチ

1月9日(火)に学習委員会による数学・理科クラスマッチが行われました。

期末テストが終わってから約2週間、数学と理科の基礎学力を高めるためにクラス一丸となって学習に向かいいました。e ライブライアリを活用して学習できるようにテスト範囲が設定されており、各クラスで効率よく学習できるように学習委員会を中心となって学習計画を立てました。今回の総合優勝は2年A組、そして生徒会長の今田陽翔さんが校内で唯一の満点獲得者でした。次回は3学期に英語クラスマッチを予定しています。満点者が増え、平均点が上がるよう期待しています。

	1位		2位		3位
平均点部門【数学】	1 A	35.5	3 A	33.5	2 A
平均点部門【理科】	3 A	35.8	2 A	34.1	1 A
平均点部門【合計】	3 A	69.3	1 A	67.1	2 A
満点率部門	2 A	2.9			
総合順位	2 A	69.8	3 A	69.3	1 A

アンサンブルコンテスト最北地区予選

1月21日(日)新庄市民文化会館でアンサンブルコンテスト最北地区予選会が行われました。

吹奏楽部員たちが日頃の練習の成果を発揮し、美しいハーモニーを響かせました。



打楽器八重奏



サクソフォン三重奏



木管三重奏

12月 生徒の活躍

中学生の税についての作文 村山税務署長賞 伊藤 優里さん

全国中学生人権作文コンテスト 山形地区奨励賞 遠藤 音生さん

2学期 多読賞

〈1年〉 高橋 直樹さん
佐藤 生吹さん
長瀬 由真さん
遠藤凜々衣さん
早坂 漢大さん

〈2年〉織江陽向子さん
石川 心羽さん
安達 利迦さん
安達 聰子さん
高橋 愛笑さん
奥山 凜耶さん

〈3年〉 小内 英海さん
高橋優希音さん
海藤 綾音さん
佐々木司音さん
遠藤日緒莉さん

**井上 大和さん
六沢 萌愛さん
常盤 至さん
今野 真緒さん**

アンサンブルコンテスト最北地区予選
サクソフォン3重奏：銀賞
木管3重奏：金賞【県大会出場】
打楽器8重奏：金賞【県大会出場】

令和7~8年山形県スポーツ・運動優秀選手指定
陸上競技：今田陽翔さん 佐藤 蓮さん
石川心羽さん 森 琉華さん
軟式野球：柳橋 昊さん

実用数学技能検定

1月の予定